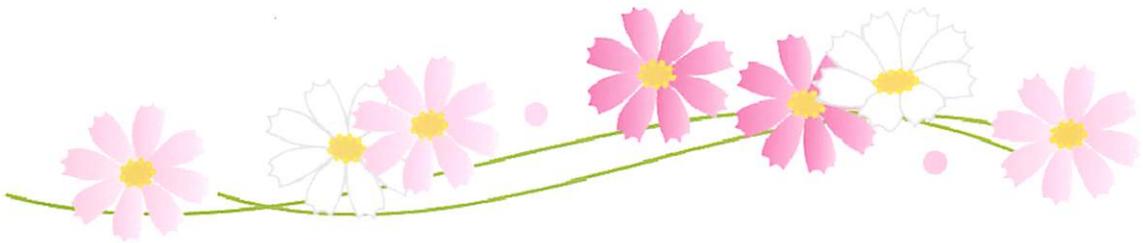
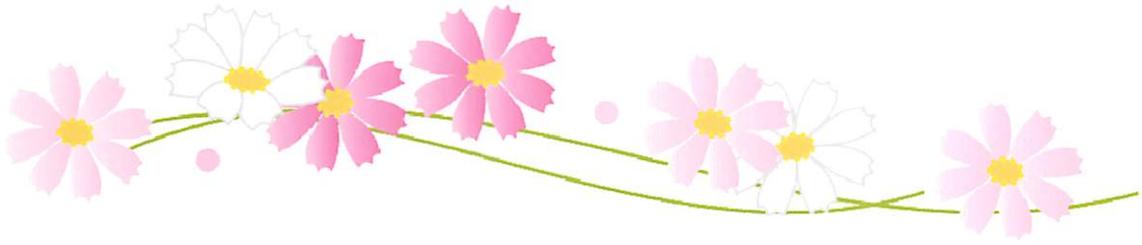


十周年を記念して  
記念誌 「いきいき会」

平成22年

愛媛大学医学部附属病院  
ボランティアいきいき会



## 記念誌「いきいき会」発刊にあたって

いきいき会

代表 寺岡 陸雄



この度 ボランティアいきいき会の記念誌を発刊することになりました。これ偏に病院長をはじめ病院職員皆様のご指導ご支援によるものと深く感謝いたしております。

いきいき会が、組織として活動を始めてから5年が過ぎました。当時15名で役員等の組織の確立からはじめた会も200名の活動員となりました。

いきいき会は、会員相互の自主活動と協力のもと、病院関係者と協働により病院内で活動を行い、患者さん主体のより良い医療環境の向上に努め、住み良い地域づくりに寄与することを目的としており、病院ボランティアの活動が、患者さんや家族の方の安心と癒しになるよう努め、病院が身近な存在となることを願いながら、目的達成のため奉仕に熱意を持ち活動をしています。

今後、記念誌を通じて活動員の活動状況を知って頂き、ボランティアに対し深いご理解とご支援ご指導を賜りますようお願いを申し上げますとともに、活動員の仲間になり共に活動できる方をお待ちし記念誌発行のご挨拶といたします。

# 目 次

## あいさつ

愛媛大学医学部附属病院記念誌「いきいき会」の創刊にあたって	病 院 長	横 山	雅 好
ボランティア活動に感謝の気持ちを込めて	看護部長	田 淵	典 子
ボランティア員さんの活動に感謝	看護師長	三 好	満 寿 美
	看 護 師	永 田	里 佐
	医事課長	重 松	章 三

## あゆみ

I. 病院ボランティアのあゆみ	P 1
-----------------	-----

## 活動状況

II. ボランティアの活動状況	P 4
1. 病院ボランティアとは	P 4
2. 定例総会	P 5
3. 感謝状贈呈	P 5
4. 地域社会貢献	P 5
5. ボランティア活動	P 6
1) 介助の補助活動	P 6
2) 環境美化活動	P 7
3) お花の手入れ	P 7
4) 院内図書室	P 8
5) 折り紙教室	P 9
6) 話し相手(病棟)	P10
7) おはなしウーフ	P10
8) 気功教室	P11
6. 病院内の行事	P12
1) コンサート	P12
2) 七夕飾り	P13
3) ボランティア研修	P13
(1) 医療ボランティアから災害ボランティア研修	P13
(2) 接遇ボランティア研修	P14
4) 学生さんとの交流	P14

患者さんの声 .....	P15
--------------	-----

## 資料

### <ボランティアに関する規定>

1. 愛媛大学医学部附属病院医療サービス推進委員会規程 ..... P17
2. 愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会活動員受入要項 ..... P19
  - ・ボランティア活動の心得 ..... P21
3. 愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会運営申合せ ..... P23
4. 病院ボランティアに対する感謝状贈呈基準 ..... P24

編集後記 .....	P25
------------	-----

## 愛媛大学医学部附属病院記念誌「いきいき会」の創刊にあたって

病院長 横山 雅好



いきいき会の会員の皆様、日頃は愛大病院の入院患者さんや外来患者さんのために様々なボランティア活動をして頂き本当にありがとうございます。病院長としましては感謝の一言に尽きる思いです。

現在、200名のいきいき会の方々がボランティア活動をされておりますが、このように大勢の方に参加して頂けるようになったのは、つい最近のことかと思えます。数年前に、活発なボランティア活動で有名なある病院の病院長

とお目に掛かる機会がありました。その際、その方から『ボランティアの方は、患者さんにとっては病院の顔であり、医療者にとっては心強いサポーターであるとともに厳しい外部評価委員である』と言われました。私は、ボランティアの方に支持されない病院は地域住民からも支持されないと思い、田淵副病院長(看護部長)に、いきいき会の会員数を200名にする運動を始めようと提案しました。当時、愛大病院では、いきいき会の会員は50名に満たない数でしたから、関係の方々も実現不可能だと思われたと思います。この程、会員200名という目標が達成されたことは感無量という気がいたします。

その当時、田淵副病院長の提案は、病院としてボランティアの方に何をして頂くかではなく、ボランティアの方が患者さんたちに何をしてあげたいと希望されているかを大事にしようということでした。そのため、いきいき会の会員の方々との意見交換をできるだけ行うことを意識してきました。今後もその方針は変わりません。会員の皆様には、是非病院に対するご要望やご指摘、また患者さんの生の声をお伝え頂ければ幸いです。

いきいき会のますますのご発展をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

## ボランティア活動に感謝の気持ちを込めて

看護部長 田渕 典子



愛媛大学医学部附属病院における病院ボランティア活動は、平成11年1月7日から医学科学生4名により始まりました。その後、平成16年3月25日に「いきいき会」が発足し13名になり、5年が経過した現在では200名の方が登録され、それぞれの持てる力を発揮されています。

私も看護部長に就任し3年が経過しましたが、この間、ボランティアさんから多くの元気を頂きました。週3回、外来自動再来受付機の対応のため朝外来に立っていますが、早くから来られている

ボランティアさんの爽やかな挨拶と優しい笑顔に励まされています。

正面玄関には、プランターに季節の花が咲き、草が生えていた空き地には、手作りの花壇が出来、そこで咲く花も通院される患者さんの気持ちを和ませてくれています。活動する人の姿が見えなくても、咲く花を通してボランティアさんの優しさが伝わってきます。また、蝉の声が聞こえる夏、秋の落ち葉の積もる頃、「老人パワーです。」と明るく元気に環境整備に精を出してくださる姿に力強さを感じます。病院図書、折り紙教室・・・幾つもの活動の中に、病院を大切に思っている気持ちが溢れています。

私も愛媛大学病院に就職し、多くの患者さんから学び看護師として成長をさせて頂いたと同時に、多くの病院職員や地域の方に支えて頂き現在にいたっています。それだけに、この病院は私にとって大切な場所です。その大切な場所を、より良くしようと活動してくださる皆さまには感謝の気持ちで一杯です。これからも、明るく元気で活動し地域の方に愛される病院作りに参画して頂ければと思います。

吹く風に季節の変化を感じ、こころ癒されるように、ボランティアさんの活動が自然に病院の中に浸透すれば、出会う方の癒しの存在になると思います。互いが幸せな気持ちを満たし合いながら、多くの方に差し上げましょう。

皆さまとの出会いに感謝し、今後も共に歩むことができれば幸いです。

## ボランティアさんの活動に感謝

2-2F病棟

看護師長 三好 真寿美



ボランティアさんの活動は、院内図書の整備、正面玄関の花の手入れや院内の草引き、折り紙教室や正面玄関での患者さんの誘導など、今では毎日のようにエプロン姿で活躍している姿を目にします。

私が初めて正面玄関で患者さんの誘導をご一緒させて頂いた時、機敏な動きとはつらつとした表情に感動したのを覚えています。まさに会の名のごとく“生き生き”していました。夏の暑い日も、冬の寒い日もたくさんの方々が、自ら患者さんに何をすれば良いかを考え行動されていました。ある時、なぜこの活動に参加しようと思ったのかをお聞きした際、「何か私たちでもできることがあるのではないかと考えて、参加しているのです。お世話になっている大学病院なので。」と、あるボランティアさんは話されていました。そう思ってもらえることは、とても有り難いと感謝し、そこで働いている私は、その思いに恥じない仕事をしなければいけないと自分を奮い立たせ、日々の仕事を頑張っています。



## 1-4F病棟

患者サービス担当看護師 永田 里佐



1-4F病棟には、週3回ボランティアの方が1時間程度患者さんの話し相手として来てくださっています。

対応して下さる患者さんの年齢は、10代の方から年配の方まで様々です。私たち看護師もできる限り患者さんの側にいる

時間を多くしようと心掛けてはいますが、午前中は業務やケアに追われ、なかなか時間が取れないのが現状です。そんな時、にこにこした笑顔で病棟に来られ、豊かな経験を活かして患者さんの話し相手となって頂いており、すごく助かっています。患者さんも「今日は来てくれるんよね？」と尋ねて来られることも多く、楽しみにされているのがよく分かります。始めは一人二人で話していても、気付けばボランティアさんの周りに患者さんが何人も集まっている場面をよく見掛けます。また、医師や看護師には話せない事もボランティアさんに聴いてもらい、笑顔になられることもあり、患者さんにとって身近な存在となっているようです。

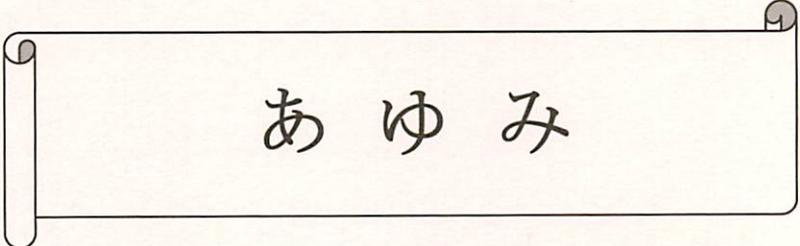
## 医事課長

重松 章三



週延べ10名程度のボランティアの方が、自動再来受付機による受付の補助及び受診手続きの説明、病院内の案内などの業務を1時間毎のローテーションでサポートして頂いております。

自動再来機が混み合う時間帯はずっと張り付いて操作の説明や受付の補助をし、病院の再来機担当者が患者さんの対応をしている時に他の患者さんの対応をしてくれたり、車椅子や身体の不自由な患者さんに言葉を掛けて受付を代わりにするなど、現場を預かる医事課としても大変感謝しております。



あゆみ

## I. ボランティアのあゆみ

### 平成 8年度

- 11月14日 病院運営委員会にボランティア導入検討委員会設置提案・了承
- 12月12日 ボランティア導入検討委員会設置及び委員の委嘱
- 12月27日 ボランティア導入検討委員会(第1回)開催

### 平成 9年度

- 4月17日 ボランティア導入に関するアンケート実施
- 1月30日 ボランティア導入に係る講演会開催 講師:富山医科大学専門職員

### 平成10年度 活動員 4名

- 6月24日 ボランティア打合せ会開催
- 9月10日 「愛媛大学医学部附属病院ボランティア活動員実施要項」の制定
- 10月 5日 ボランティア委員会(第1回)開催
- 10月22日 ボランティア運営委員会(第1回)開催
- 10月28日 看護学科へ募集開始
- 11月11日 医学科へ募集開始
- 1月 7日 結成式・オリエンテーション・活動開始
- 3月 1日 重信町社会福祉協議会の「社協だより」に募集の掲載
- 3月12日 「病院ボランティアのご案内」の作成

### 平成11年度 活動員 11名

- 7月 看護学科学生へボランティア募集ポスター配布

### 平成12年度 活動員 8名

- 6月 川内町広報誌に募集の掲載

### 平成13年度 活動員 10名

- 6月 「病院ボランティアのご案内」のポスターイメージチェンジ  
「ボランティアオリエンテーション」をイメージチェンジ
- 8月 川内町広報誌・重信町広報誌に募集の掲載

### 平成14年度 活動員 26名

- 5月 7日 学習指導のボランティア受入 看護学科学生18名

- 5月17日 2-8F 病棟(整形外科)から学習指導のボランティア要請
- 7月25日 広報「かわうち」に募集の掲載
- 8月 1日 愛媛大・松山大・放送大にポスターの送付  
広報「しげのぶ」に募集の掲載
- 8月13日 体験ボランティアの実施 0.5日間
- 9月12日 感謝状授与及び懇談会の実施 被授与者1名
- 9月24日 活動証明書の発行
- 9月30日 ボランティア保険の病院負担開始
- 12月11日 ボランティア活動員間の交流会(第1回)開催
- 1月20日 感謝状授与と交流会の状況をホームページに掲載
- 1月28日 ボランティア申込みのお断り(健康診断の結果)

#### 平成15年度 活動員 15名

- 1月19日 ボランティア懇親会開催
- 3月25日 ボランティア会立ち上げ及び講演会開催  
「愛媛大学病院ボランティアいきいき会規約」の制定

#### 平成16年度 活動員 15名

- 4月 1日 「愛媛大学医学部附属病院ボランティア活動員受入要項」の制定
- 8月26日 いきいき会臨時総会開催
- 12月21日 愛媛大学医学部附属病院が日本病院ボランティア協会団体賛助会員  
に入会
- 12月22日 いきいき会が日本病院ボランティア協会に入会
- 1月12日 いきいき会研修会「インフルエンザの予防について」  
講師:村上早苗感染対策専任看護師長

#### 平成17年度 活動員 14名

- 4月22日 いきいき会勉強会及び懇親会開催  
「内なる力を引きだそう」 講師:櫃本真幸助教授
- 6月30日 いきいき会定期総会開催  
ボランティア感謝状贈呈式及び昼食懇談会開催  
出席者21名 被表彰者2名
- 6月30日 ボランティアイベントブックにサマーボランティアの計画掲載
- 8月 2日 ボランティアオリエンテーション資料作成
- 9月20日 愛媛新聞に本院ボランティアの紹介記事
- 12月12日 スライドショー「アラスカフォトライブ」外来ホールにて開催

**平成18年度 活動員 23名**

- 4月26日 ボランティア活動員との懇談会 23名出席
- 6月19日 ボランティア感謝状贈呈式及び懇談会 19名出席  
被表彰者 2名
- 12月22日 クリスマスロビーコンサート 外来ホールにて開催
- 1月17日 初笑い寄せ 外来ホールにて開催 講師:枝廣篤昌氏
- 2月 8日 気功教室開始

**平成19年度 活動員 39名**

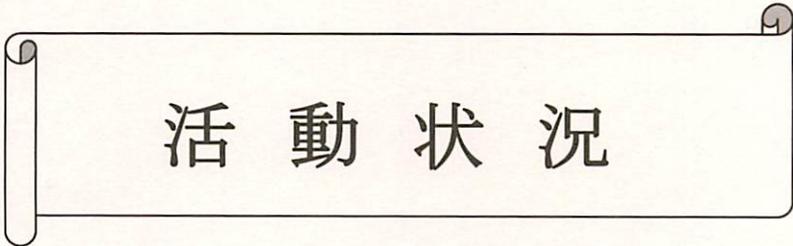
- 6月11日 ボランティア感謝状贈呈式及び懇談会 38名出席  
被表彰者 8名
- 7月 7日 病院玄関に花壇設置
- 12月25日 クリスマスギター演奏会 外来ホールにて開催  
出演者:愛媛大学教員アコギバンド・愛媛大学ギター部員
- 1月 4日 図書寄贈受入開始

**平成20年度 活動員 62名**

- 4月 2日 院内図書開設
- 4月29日 1-4病棟ベランダにボランティアによるプランターの花設置
- 6月 4日 ボランティア感謝状贈呈式及び懇談会 23名出席  
被表彰者 4名
- 8月 8日 昼下がりのコンサート&トークショー 外来ホールにて開催
- 11月21日 折り紙教室開始
- 12月25日 「クリスマスの夕べ」外来ホールにて開催  
伊予万歳・オカリナ演奏歌・ハーモニカ演奏・トーンチャイム演奏
- 2月28日 ボランティア接遇研修「ハートのコップ」 講師:田淵典子看護部長

**平成21年度 活動員 200名**

- 6月20日 七夕飾り
- 12月10日 いきいき会と病院ボランティアとの統合  
「愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会運営申合せ」の制定
- 12月24日 クリスマスロビーコンサート 外来ホールにて開催
- 1月13日 広報誌編集委員会設置
- 1月23日 いきいき会研修及び懇談会開催 「高齢者医療の現状と健康管理」  
講師:医療福祉支援センター長 櫃本真幸准教授



活動狀況

## Ⅱ. ボランティアの活動状況

愛媛大学医学部附属病院は、昭和51年の開院以来「患者から学び、患者に還元する教育・研究・診療」の実現を目標として、地域に根ざした病院づくりに努めています。

平成10年からは自由意志に基づき、患者さんに対して援助活動を行う「病院ボランティア」と連携し、患者さんへより良いサービスの提供を図っています。

平成16年3月にはボランティアグループ「いきいき会」を立ち上げ、病院とパートナーシップを組み、より良い主体的にボランティア活動に取り組んでおり、現在200名(平成22年2月22日 現在)の方が活動されています。



### 1. 病院ボランティアとは……

病院の医師、看護師及びその他の職員等と協力して、患者さんが少しでも快適な環境で安心して治療を受けることができるように、療養上のサービスを提供することであり、そこに集う人たちのことです。

病院ボランティアは、医師や看護師の肩代わりをするスタッフではありません。しかし、病院の中には専門職以外の人がかかわる方が、より快適となるサービスが沢山あります。ボランティアがそのような業務を引き受けることで、病院は患者さんにより適切な治療・療養環境を提供することができます。

また、患者さんとボランティア活動員とが交流することで、患者さんに精神的な安らぎを与えられるだけでなく、ボランティア員自身も患者さんに元気をたくさん

頂いています。病院ボランティア活動は、活動員自身も活気に満ちあふれた毎日を送ることができる素晴らしい機会となります。

## 2. 定例総会

年1回定例総会を開催し、ボランティア員の仲間たちが1年間に活動した報告と、新年度の活動計画を話し合い、新たな活動目標を定めています。

## 3. 感謝状贈呈

ボランティア活動員の様々な援助活動の多大な貢献に対して、感謝状が贈呈されています。



<病院長からの感謝状>



大西 記代子活動員

<日本病院ボランティア協会からの感謝状>

活動時間:1000 時間以上

## 4. 地域社会貢献

- ・平成21年 9月 3日 松山市社会福祉協議会会長から団体部で表彰を受ける



・平成21年11月26日 東温市社会福祉協議会会長から団体部で表彰を受ける



## 5. ボランティア活動

病院ボランティア活動は、患者さんとして、家族として病院に初めて受診に来院された時、「受付はどこ？」と戸惑われている方、身体が不自由で車いすの介助等を必要とされている患者さんに対応し、安心してより良い治療が受けられるための活動です。その活動内容を紹介します。

### 1) 介護の補助活動

来院される患者さんにとって、玄関にボランティア員が立っていることは心強く感じ、そして、安心と安らぎを与えます。

身体や心に不安を抱かれて病院に来院された患者さん、その家族が安心して治療が受けられるように、ボランティア員と医療従事者が協働して、玄関前での車いす介助、自動再来受付機による受診手続きの仕方の説明及び手助け、入院される患者さんの案内などの活動をしています。



## 2) 環境美化活動

多くの緑に囲まれ春には桜の花に心を癒され、新芽若葉の美しい緑に潤い、秋には紅葉に和み、北風と共に舞い散る落ち葉に物思う、優しい自然美に囲まれた病院に来院される患者さんが、家庭的でより良い快適な環境の中で受診、療養されるよう草取りや落ち葉の清掃など、病院内の環境美化活動を、「東温市老人クラブ」の仲間が自主的に参加し、交流と親睦の輪を広げ健康づくりに励みながら活動をしています。



## 3) お花の手入れ

平成 19 年から病院玄関前に、プランターやお花の好きなボランティア活動員で造った花壇には、四季折々の花が咲き、病院を訪れる患者さんやその家族の方が花に見入ったり、カメラを持って接写したり「きれいな花は心が和む」と話し掛けながら楽しんで頂いています。

お花の手入れは、活動員の手空き等限られた日に草引き、水やり、お花の植え替え、土づくり等の作業を行いながら、患者さんからの喜びの声を背に活動をしています。



#### 4)院内図書室

平成20年4月、ボランティア室に寄贈された約7,000冊の各種本を取りそろえ図書室を開設しました。

始まる前は、掃除をして気持ちよく整った部屋で患者さんが見て・読んで喜ばれるよう部門別に整理、整頓しセンス良く配列に心掛けています。

なお、各書棚には、ジャンル別に50冊～180冊程度そろえています。

◆貸し出し日	月曜日～金曜日	9:30～12:00	
◆外来配本日	第1月曜日	1階診察待合室	7ヶ所
		2階 同	6ヶ所
		3階 同	1ヶ所
◆病棟配本日	第4金曜日	1号館	11ヶ所
		2号館	7ヶ所

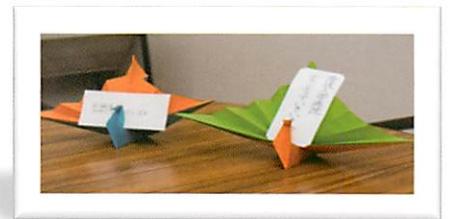




### 5) 折り紙教室

毎月第3木曜日13:30～14:30に折り紙教室を開いています。  
折り紙教室には、毎回多くの患者さんが参加し、ボランティア活動員の指導を受けながら共に学び合っています。

折り紙教室は、作る喜び、贈る喜び、使う喜びがあり、誰でも気軽に簡単に始められ、作品に仕上がるまでの作業が楽しめ、作品が出来上がった時の喜びや達成感が味わえる折り紙の魅力があります。そして、参加される患者さんと出会い、共に楽しみ喜びを得ながら活動をしています。



## 6) 話し相手(病棟)

医療者でも、カウンセラーでもない病院ボランティア員が、週3回、話す機会が少ない入院患者さんの、好きなことを話したい、話を聞いてもらいたい等、の心に寄り添い安らいで頂けるように、静に耳を傾けています。

お話をする患者さんの心に出会う時には、楽しい四方山話に花を咲かせる機会が多いものです。患者さんの心を受けとめ、常に自戒していく心構えを大切にしています。



## 7) おはなしウーフ

平成10年「かぼちゃの会」として発足、現在は「おはなしウーフ」と改名して市内の保育園、幼稚園、小学校、書店などを訪問しています。

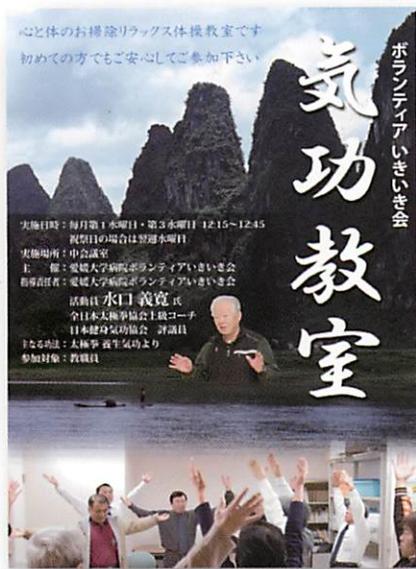
平成17年6月から、愛媛大学医学部附属病院の院内学級(対象年齢0歳～小学生)を毎週木曜日13:00～13:30までお話し会を開き、紙芝居、絵本、手あそび歌や素話を通し四季の移り変わり、情緒豊かな日本語の美しく優しい表現など外からの爽やかな風を子どもたちに届けています。



## 8)気功教室

心身のバランスを図るために、東洋で伝承されている「身(身体)、息(呼吸)、心(意識)」を鍛錬の手段として、人体の正気を養うことによって病を除き、寿命を伸ばそうとする気功を毎月 第1・第3水曜日の 12 時 30 分より 30 分間行っています。

技法の代表的なものには、八段綿、易筋経、六字決、五禽戯等があり、筋や骨を伸ばすストレッチ、鳥や動物の模倣によるバランス調整その他の養生法を活用し、身体へのストレス解消につなげています。



## 6. 病院内の行事

### 1) コンサート

病院本館外来ホールにて、病院職員と一緒に「ふれあいコンサート、クリスマスの夕べ」など安らぎのイベントを開催し、患者さんや家族の方に治療の合間の一時を過ごして頂きたいと、トーンチャイムや音楽の演奏を行っています。

また、音楽に朗読と、患者さんに喜んで頂けるような企画を行っています。



## 2)七夕飾り

病院本館外来ホールは、季節に応じた飾り付けを行っています。



## 3) ボランティア研修

### (1) 医療ボランティアから災害ボランティア研修（平成20年度から実施）

地域を取り巻く環境の変化に応じて、地震・水害など災害時の対応が迅速かつ的確に対処することが必要になってきています。地域で安心して暮らせる地域コミュニケーションが再認識され、医療ボランティアから災害ボランティアへの活動に向けた初級・中級・上級コース、その後フォローアップ研修を受講しました。



## (2) 接遇ボランティア研修(「接遇」=ハートのコップ:平成20年度)

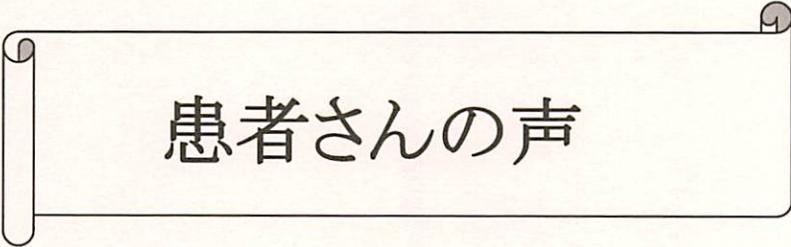
田淵看護部長を講師に招き、患者さん・その家族が病院を訪れた時に、安心して治療を受けられる環境を提供できるように、接遇の研修を行いました。



## 4) 学生さんとの交流

平成21年度は、病院へ見学に来る学生さんたちへ病院ボランティア活動について説明を行いました。





患者さんの声

♡ 1-10F 病棟 長谷川暁子さん

私にとって入院生活は読書の時間です。  
治療の関係で何度も入退院を繰り返していますが、その度にたくさんの本を持参していました。ボランティアの皆さんによる、図書サービスができるまでは。

数年前のある日、病棟に図書ワゴンが誕生しました。病院内のそこかしこにも書棚が設置されています。驚いて看護師さんに尋ねると、スタッフからの寄贈による本との事。文学作品からコミックまでジャンルも多岐に渡ります。嬉しくて、次から次へと読みました。入院という閉鎖された環境では、どうしてもストレスが溜まります。まして皆病気や怪我を抱えて、思うようにいかない事もあるでしょう。そんな時、読書はとても良い気晴らしになります。落ち込んだ時には励まされたり、歯痒くて苛々する時には心を静めてくれたり。本は、自分と向き合う為の大切な存在です。

今は入院すると、病院の1階に新しく設けられた院内図書室に必ず通います。本も驚くほど増えました。行くとボランティアの方が笑顔で迎え入れて下さいます。皆さんのおかげで、とても有意義な入院生活が過ごせる事を、この場を借りてお礼を申し上げます。これからもずっと図書サービスを続けて下さい！



♡ 1-7F 病棟

図書室を利用しています。本が好きで入院していると時間があるので、助かります。売店で買うとお金もかかりますし、本の種類が限られており、図書室の方が選べるのでいろんな本が読めます。

ただ、図書室のあいている時間が決まっていたので、いつも開いているとより良かったです。図書室に行くとボランティアさんも話し掛けてくれて、楽しい時間にもなりました。特に笑顔で迎えてくださり、気分が良かったです。

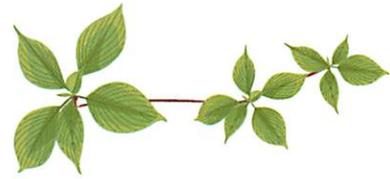


♡ 病棟

毎週、水曜日になるのが楽しみでした。入院生活が長くなるにつれ、本を読むことが多くなりました。「水曜日より前に退院したら、病棟の看護師さんに預けて下さい。」といつも親切に言っていただきました。今後とも、多くの患者さんに利用され、入院生活の支えとなられるよう願っています。本当にありがとうございました。

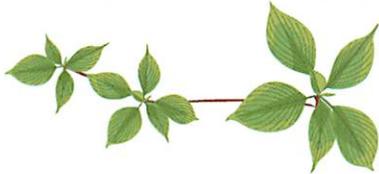
## ♡ 外来

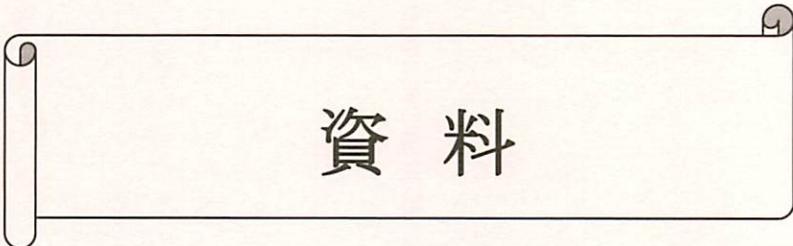
私は現在、中学校の教員として働いていて、昨年病院に入院をしていました。意識がなく救急車で運ばれ、そちらで手術を受けました。最初の1週間位は個室にいましたが、大部屋に移った頃から状況がつかめてきました。少しずつ回復しボランティアの皆様が用意してくれた本を読む機会が得られました。30冊位は読んだと思います。さらに、回復してくると院内や敷地内をよく散歩しました。病院の玄関のところまで患者さんの案内をしている皆さんのことをいつも見かけていました。あれは、不安な気持ちでいる患者さんやその家族にとって助かったことと思います。



## ♡ 病院顧客満足度調査からの声

- ・ボランティア様(院内・外含む)に気持ちよく挨拶していただければ、気分は爽快へと
- ・黄色いエプロンのボランティアさんがいて助かります
- ・ボランティアスタッフの方たちの気配りがよい
- ・ボランティアの人が良くしてくれる





資料

## 愛媛大学医学部附属病院医療サービス推進委員会規程

平成16年4月1日

制 定

(設置)

第1条 愛媛大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、愛媛大学医学部附属病院医療サービス推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、病院内の各部門等が連絡協調を図り、業務の円滑な処理及び効率的な病院運営を確保することにより、病院を利用する患者及び患者の家族等（以下「患者等」という。）へのサービスの向上に資することを目的とする。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 職員の患者等対応サービスの向上に関する事。
- (2) 患者等の院内活動にかかるサービスの向上に関する事。
- (3) 患者等からの苦情・意見の収集及び対応に関する事。
- (4) ボランティアの受入れ及び活動内容等に関する事。
- (5) その他医療サービスに関する事。

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副病院長 1人
- (2) 医療福祉支援センター長
- (3) 診療科長以外の教員 若干人
- (4) 薬剤部の職員 1人
- (5) 診療支援部の職員 1人
- (6) 看護師長 1人
- (7) 医療サービス室長
- (8) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第1号、第3号から第6号及び第8号の委員は、病院長が指名するものとする。

3 第1項第1号、第3号から第6号及び第8号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠により指名された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、前条第1項第1号に規定する者をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、原則として月1回開催するものとする。ただし、必要に応じて随時開催することができる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。
- 3 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(報告)

第7条 委員長は、委員会で審議した事項について、その結果を病院長に報告するものとする。

(専門委員会)

第8条 委員会に、医療サービス等に関する専門的事項を検討するため、専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会に関する事項は、委員会が別に定める。

(事務)

第9条 委員会の事務は、医療サービス室において処理する。

附 則

この規定は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、平成18年4月13日から施行する。

附 則

この規定は、平成18年5月11日から施行する。

## 愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会活動員受入要項

平成16年4月1日

制 定

### (趣旨)

第1 この要項は、愛媛大学医学部附属病院(以下「本院」という。)における患者サービスの向上を図るとともに、開かれた大学として地域住民の社会活動の場を提供することを目的に、本院においてボランティア活動が適性かつ円滑に行われるために、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2 この要項において、「ボランティア」とは、自らの自由意志に基づき、本院の患者に対して療養上の援助活動並びに快適な環境整備を無償で行う者をいう。

### (申請)

第3 本院においてボランティア活動を行うことを希望する者は、あらかじめ「ボランティア活動申込書」(様式1)に所要事項を記入の上、病院長に申請するものとする。

### (許可)

第4 病院長は、前項の申請があった場合、面接及び健康診断を実施し、本院の業務並びにボランティア活動に支障がないと認めた場合は、本院においてボランティア活動を行う者(以下「活動員」という。)として受入れを許可するものとする。

### (登録等)

第5 病院長は、前項の規定により、活動員として受入れを許可したときは、「ボランティア活動員登録台帳」(様式2)に登録するとともに、「ボランティア活動員証明書」(様式3)を申請者に交付するものとする。

### (健康診断)

第6 病院長は、活動員に対し、毎年一回健康診断を実施するものとする。

### (証明書の着用)

第7 活動員が本院でボランティア活動に従事するときは、必ず、「ボランティア活動員証明書」を着用するものとする。

### (学内規則等の遵守)

第8 活動員は、本学の学内諸規則及び別に定める「ボランティア活動の心得」を遵守するとともに、活動部署の担当職員の指示に従うものとする。

### (辞退及び許可の取消)

第9 活動員は、自己の都合により活動員を辞退しようとするときは、病院長にその旨申し出るものとする。

2 病院長は、活動員が本院において思想的、宗教的、政治的活動その他支障のある行為を行ったとき等、活動員として適当でないと判断したときは、受入れの許可を取り消すことができる。

3 病院長は、第6項の健康診断の結果、活動員として支障があると判断したときは、受入れの許可を取り消すものとする。

(感謝状の贈呈)

第10 病院長は、活動員に対し、感謝状を贈呈することができるものとする。

(雑則)

第11 この要項に定めるもののほか、ボランティア活動員の受入れ及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年4月13日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年5月14日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年12月10日から施行する。

## 別紙

### ボランティア活動の心得

愛媛大学医学部附属病院

#### はじめに

ようこそ愛大病院のボランティア活動に参加してくださいました。

職員一同に、患者さんも加わって、あなたを心から歓迎し、あなたがボランティア活動をしてくださることに深く感謝申し上げます。

今後、ボランティアの皆様のお力添えをいただきながら、本院職員は一丸となって、本院の患者サービスのより一層の向上に向けて努力していく所存です。

活動をされる中で、お気付きの点や疑問の点がありましたら、どうか遠慮なく提案や質問をしていただきますようお願いいたします。

#### I 心構え

- (1) 患者さんのために、喜んで奉仕する気持ちを忘れないようにしましょう。
- (2) 活動中は、全ての患者さんに対して平等に接するようにしましょう。

#### II 服装

- (1) 清潔な動きやすい平常着の上に活動用エプロンを着用し、胸にボランティア活動員証明書をつけましょう。
- (2) 靴は、音のしない、踵の低い活動しやすいものを履きましょう。
- (3) 爪は短く切り、特殊な色のマニキュアはしないようにしましょう。
- (4) アクセサリー、指輪及び香水等の派手なものの使用は控えましょう。

#### III 態度

- (1) 相手を思いやる暖かい心で、明るく、穏やかに、礼儀正しく接するよう努めましょう。
- (2) 言葉は丁寧に、患者さんから依頼された仕事は快く引き受けるよう努めましょう。

#### IV 活動日

- 1 活動を約束した日、時間は必ず守るように努力し、やむをえず休む場合は、できるだけ早目に連絡しましょう。
- 2 活動を始めるときは、開始日時、退室する時は、退室時間、活動内容、連絡事項等をボランティア活動報告書(別添様式)に記入しましょう。

#### V 活動時の注意

- (1) 活動する際は、活動する部署の方針に従い、指示のとおり活動しましょう。
- (2) 病院内の建物配置、面会時間、注意事項及び職員の仕事や責任体制等について、あらかじめ十分理解するように努めましょう。
- (3) 活動中、患者さん等に関して見聞きしたことは、決して他に漏らさないでください。

- (4) 患者さんから病状，診断について尋ねられた場合は，受け持ちの医師に相談するよう勧めましょう。
- (5) 患者さんから病状記録を読んだり，患者さんの診断・治療等に意見をはさんだり，患者さんの診断内容等について尋ねないでください。
- (6) 患者さんや家族に対し，薬や物品の購入等について勧誘しないようにしましょう。
- (7) 活動中は，思想的，宗教的及び政治的活動はしないようにしましょう。
- (8) 患者さんや家族に対し，贈り物をしたり，受け取ったりしないようにしましょう。

## VI 健康管理

- (1) 活動の前後に手洗い，うがい等を励行し，自分自身の健康に気をつけましょう。
- (2) 活動中にケガをしたり，気分が悪くなったりした場合は，すぐに責任者に連絡してその指示を受けましょう。
- (3) 病院で決められた健康診断は，必ず受けましょう。

## 愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会運営申合せ

平成21年12月10日

制 定

- 第1 この申合せは、愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会活動員受入要項第11に基づき、運営上必要な事項を申合せのものとする。
- 第2 愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会（以下「本会」という。の事務所は、愛媛大学医学部附属病院ボランティア室に置く。
- 第3 本会は、受入要項に定めるものの他次のことを行う。
- ① ボランティアに関する知識・技術の向上を図る。
  - ② 地域住民に親しまれ、信頼される活動を行う。
  - ③ 会員相互の信頼を図る。
  - ④ 関係機関との連絡・調整に関すること。
  - ⑤ その他広報活動
- 第4 この会に、代表1名、副代表2名、部門責任者等各1名を置き、会の運営に当たる。代表は、この会を代表し会務を統括する。副代表は、代表を補佐する。部門責任者は、当該部門を代表する。
- 第5 この会に次の部門を置く。
- ① 外来部門
  - ② 病棟部門
  - ③ 気功教室部門
  - ④ 図書部門
  - ⑤ 折り紙教室部門
  - ⑥ 環境美化部門
  - ⑦ その他
- 第6 定期総会を年に1回、6月に行う。ボランティア連絡協議会を月に1回行う。また、必要に応じて臨時総会を行う。
- 第7 この会の事務は、医療サービス室において行う。

### 附 則

この申合せは、平成21年12月10日から施行する。

## 病院ボランティアに対する感謝状贈呈基準

### (趣旨)

第1 この基準は、愛媛大学医学部附属病院におけるボランティア活動者に対して行う感謝状贈呈について定めるものとする。

### (贈呈の対象)

第2 感謝状の贈呈対象者は愛媛大学医学部附属病院でボランティア活動を行った活動員のうち、以下の基準のいずれかを満たすものに対して贈呈するものとする。

(1) 活動時間が通産200時間、500時間に達したもの。

(2) ボランティア活動を通して多大なる貢献があったもの。

### (感謝状及び記念品)

第3 感謝状及び記念品(200時間達成者の場合3000円相当、500時間達成者の場合5000円相当)を贈呈する。

### (受賞者の選考)

第4 ボランティアに対する感謝状贈呈者の選考は、医療サービス推進委員会の推薦に基づき病院長が行うものとする。

### (事務)

第5 病院ボランティアに対する感謝状贈呈に関する事務は医学部医療サービス室において行う。

### 附 則

この基準は、平成17年4月1日から施行する。

## 編集後記

春に向かう季節の中、優しい日差しを受け病院周辺の花が咲き、木々の芽が少しずつ顔を出し始めました。

平成16年3月に愛媛大学医学部附属病院に「病院ボランティアいきいき会」が発足し、今年で病院ボランティア活動が十周年にあたります。医療従事者と病院ボランティアいきいき会が共同で、「病院ボランティア活動」のあゆみをまとめ“記念誌”を発刊することになりました。

私たち病院ボランティアは、患者さんや家族の方が安心して医療を受けられるよう、そして、少しでも安心感が得られるような快適な環境を整える活動をしています。また、ボランティア自らが、患者さんや家族の方と共感し、人の心の痛みや不安の理解に努めています。ボランティア精神のもとに、病院と連携を取りながら日々活動する様子をこの記念誌をとおして多くの皆さまに届けたいと思います。

発刊に当たっては、ご多用中にもかかわらず原稿をお寄せ頂き、ご協力頂きましたことに感謝いたします。



### <広報誌編集委員>

ボランティア員:	寺岡 陸雄	・	野村 和男
医療サービス課:	白石 建樹	・	茅原 好文
看護部:	田淵 典子	・	村上 早苗

# 十周年記念誌「いきいき会」

平成22年5月 発行

編集及び発行 愛媛大学医学部附属病院  
ボランティアいきいき会

〒791-0295 東温市志津川  
TEL (089) 964-5111(代)  
<http://www.hsp.ehime-u.ac.jp>